

協和テクノロジーズ株式会社

通信ネットワークの設計、構築、保守まで、情報通信設備に関する幅広いソリューションを提供。

RPAツールの導入を機に業務プロセスの見直しを行い、定型業務を自動化。属人化された業務を改善し、約25時間/月の残業時間を削減！

ITツール導入のきっかけ

複数の受発注システムに関する事務処理業務が属人化。人事異動による引継ぎに多くの時間がかかり、非効率な状況に。

弊社では全社統一の受発注システムと、部署独自の受発注システムを混在し活用しています。毎月月末にデータを統一するため、大量のデータを再入力する必要性があり、多くの時間を要していました。また、この業務は特定の社員にしか処理できない、属人化された業務手順となっており、そのことも課題として認識されていました。

そのような中、事務処理に従事している社員が人事異動となり、その引継ぎに多くの時間を要しました。また、異動後も元の業務をフォローする必要があるなど、非効率な状況が続きました。

更に、社内で働き方改革プロジェクトが立ち上がり、業務効率化に向けた取り組みを加速化させる動きもあり、この機会に業務プロセスの見直しを行い、属人化防止・定型業務の自動化に取り組みました。

取り組み

日本語対応で、プログラミング未経験でも定型業務を簡単に自動化できる「RPAツール」を導入



自動化・効率化
ツール

導入したITツール：

RPAツール「NEC Software Robot Solution」（日本電気株式会社）

PCで行うマウス操作やキー入力などを自動実行させ、条件判断や繰り返し処理などを行う。プログラミング未経験者でも、日本語対応で簡単に操作できる使い勝手の良いツール。

従来より弊社は自社導入したRPAツールの販売代理をしています。働き方改革のツールとして、当RPAツールが課題解決に適していると考え、自社への導入を決めました。

効果

入力時間の短縮、ミスの軽減、チェック時間の減少が積み重なり前年度同月残業時間と比較し、約25時間/月の残業時間を削減！

RPAツール担当のSEを中心に属人化された業務の内容を分析し、「複雑な事務処理の業務」、「単調な反復性の高い業務」に区分し、自動化に向け準備を始めました。

まず「単調で反復性の高い業務」の作業工程ごとにRPAツールでロボット（シナリオ）を設定し、属人化された定型業務を自動化。可能な限り既存の業務工程を維持しつつ、誰でも理解できるよう工程ごとにロボットを作成したため、業務に直接携わっていない担当者でも問題なく利用・編集できるようになりました。

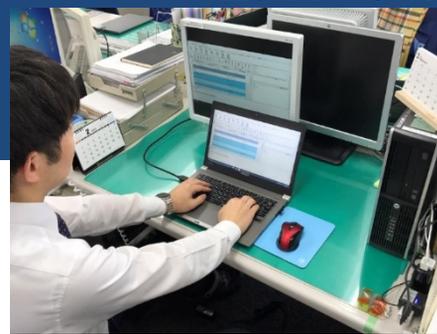
これにより、入力時間の短縮・ミスの軽減・チェック時間の減少につながり、前年度の同月残業時間と比較すると、約25時間/月の残業時間が削減されました。また、他の業務のフォローや月初め業務の前倒し作業も可能になり、業務効率も飛躍的に向上しました。

さらに、ロボットを設定するにあたり、業務プロセスが見える化したことで、属人化を防止することもできました。

業務フローのココに効く！



ITツールで生産性向上事例



協和テクノロジーズ株式会社

情報通信業

〒530-0016

大阪府大阪市北区中崎1-2-23

創業：1948年

資本金：98,600,000円

従業員数：正社員460名

<https://www.kyotec.co.jp/>



アドバイス

RPAツールの導入は、コスト削減のイメージが強いかと思いますが、業務プロセスを分析する「可視化」による業務改善のほうが効果が高いと思います。

また、繰り返しの単純作業から解放された担当者の業務は付加価値の高い仕事に多くの時間を費やすことができ、仕事への満足度（達成感）が高まります。



北海道はまなす食品株式会社

「おいしい・安心・安全な食品の提供」を掲げる食品製造・販売業。
RPAツールの導入により、まずは売上管理業務を自動化！
導入過渡期であるものの、1日15分の業務時間を削減。

ITツール導入のきっかけ

受発注管理等を複数のExcelで管理しているため転記ミスが発生。
参加したセミナーをきっかけにRPAツールを知り、導入を検討。

北海道北広島市で納豆、切り干し大根などの乾物やドライフルーツなどを製造、販売しています。

受発注管理や在庫管理等を複数のExcelで管理しており、各Excel間での転記や転記によるミス、修正等が非常に手間であると感じていました。
また、昨今の働き方改革の流れの中で、残業を少しでも減らしたいという思いもありました。

その中で、元々お付き合いのあったITベンダーのセミナーに参加し、RPAツールがIT導入補助金の対象であることを知り、興味を持ち、夏ごろから導入を検討し始めました。

取り組み

自力でツール設定が可能だと感じ、導入を決定。
まずは複数の販売先の売上管理をツールに置き換え、自動化。



導入したITツール：
RPAツール「Win Actor」(富士ゼロックス株式会社)
PCで行う固定業務の手順をRPAに登録。ツールにより自動入力を行う。

Win Actorはすでに相当数のユーザがおり、フォーラムが形成されていました。フォーラムでのユーザー間でのやり取りから、自力でRPAツールの設定ができそうだと感じ、ツール導入を決定しました。

効果

担当者による業務の洗い出しを実施。
過渡期にあるものの、売上管理業務時間が1日15分削減。

まずは自社内で課題の整理を実施しました。導入担当者が生産ラインで働いていた経験もあり、効率化・自動化できそうな業務の洗い出しができました。また、残業削減の目標が社内でも改めて意識されるようになり、できるだけ固定業務を効率化していこうということで、まずは複数の販売先の売上管理をRPAツールで自動化させました。

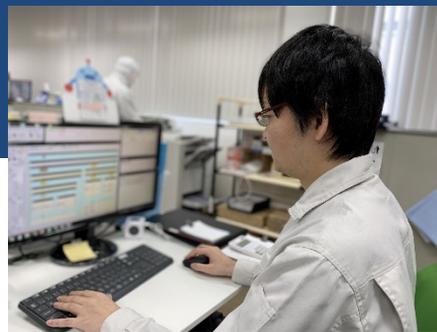
まだ導入から日が浅いこともあり、大きな変化は見られませんが、勤務時間の短縮を目指し、日々試行錯誤しています。
現時点では売上管理を自動化することで1日15分の時間削減につながっています。

ITベンダーには導入前からサポートを受け、導入後も不明点があれば電話や実際に足をはこんでもらうことあり、助かっています。

業務フローのココに効く！



ITツールで生産性向上事例



北海道はまなす食品株式会社

食品製造業

〒061-1111

北海道北広島市北の里56番地

創業：1993年

資本金：100,000,000円

従業員数：正社員8名

<http://h-hamanasu.jp/>



アドバイス

ITツールを導入することで、人の考える必要のない定型作業などを自動化することができました。

導入前に使用目的に合うツールを吟味すれば必ず成果は出せます。

IT導入補助金を使用すれば、導入時のハードルを下げる事ができるので、是非活用して目的に合ったITツールを導入しましょう。



ユニテッド・アドバイザーズ株式会社 ITツールで生産性向上事例

会計事務所のコンサルティング会社として、さまざまなクライアントの課題を解決。RPAソフトの導入によって単純な事務作業を自動化！人にしかできない顧客への提案業務に集中でき、残業時間も大幅削減。

ITツール導入のきっかけ

定型的な事務作業の自動化に対する興味から導入を検討。専門知識がなくとも直感的に使えるRPAを探した。

新聞で業務自動化を実現するツールとしてRPAが取り上げられているのを目にし、どのようなツールなのか興味を持っていました。RPAシステムは海外製が多く、価格や機能も多種多様。利用する側にもシステムの専門知識が求められるように感じ、複雑に思えて導入を躊躇していました。

RPAシステムの多くが英語であったため、日本語の記載がある日本製のRPAを探し、セミナーに参加。給与の計算や定期的なデータ配布など、当社でもRPAによって自動化できる業務がたくさんあると気づき、定型化できる業務を社員から切り離すことで仕事の質を上げられるのではないかと考えました。



ユニテッド・アドバイザーズ株式会社

経営コンサルタント業

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-11-14 NKビル10階

創業：2007年7月

資本金：1350万円

従業員数：16名

<http://www.united-advisers.com/>

取り組み

日常的なオフィス業務の中から、単純作業の部分を自動化。給与計算から利用をはじめ、徐々に自動化業務を拡大。

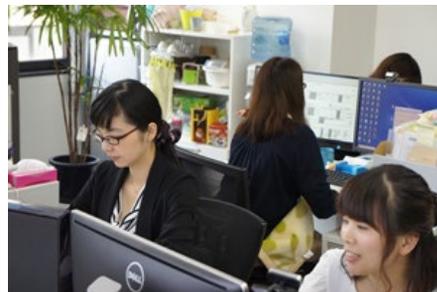
導入したITツール：

純国産RPAソフト「Robo-Pat」（株式会社FCEプロセス&テクノロジー）

PCで行う日常的なオフィス作業の手順をRPAに登録。ソフトにより業務をロボット化する。給与計算、勤怠管理、データの出力や照合などPC上で行う多様な定型的な作業に対応

ベンダー主催のセミナーに参加後、1ヶ月の無料体験期間を利用。通常業務の中にある定期的な作業の洗い出しを行い、まずは顧客向けの給与計算代行業務からRPAによる自動化を実施。その便利さと可能性を実感できたため、本格的に導入することを決定。

自動化・効率化
ツール



効果

事務作業から解放され、コンサルティングの業務に集中。月30時間の残業時間削減と、サービスの向上につながった。

毎月同額となる役員給与の計算という簡単な業務からRPAを導入。その後は明細を作成、各々にメールする作業を追加。つい忘れがちな定型作業を自動化することから始め、使っていくうちに新たな利用方法を検討し、随時機能の追加、拡充させていきました。

RPAはシステム間の連携も得意なので、これまで使っていたクラウドの会計システムと業務管理やレポーティング用のデータベースを連携させ、入金の確認から生産性の分析、レポーティング、納品の管理まで、RPAを活用しています。

これまで社員が行っていた定型的な業務をRPAで自動化したことにより、社員は本来の業務であるクライアントのコンサルティングのご提案に集中できるようになりました。導入から1年も経たずに一人あたり毎月30時間の残業時間の減少を実現しました。時間に余裕ができたことで、資格取得のための勉強や知識の強化ができるようになり、社員もスキルアップ。会社としてのサービスも向上しました。



業務フローのココに効く！



アドバイス

条件を完璧に整えてからITツールを導入しようとせず、初めはお試し、限定的にスタートする気軽さがあっていいのではないのでしょうか。多忙でITツール導入の環境を用意できないとお考えの方、導入に踏み切れていないから忙しいのです！RPAを導入すると忙しさの質が変わると思います



横浜市金沢区で居宅介護、訪問介護、小規模多機能事業所、地域密着型通所介護などを運営。

訪問介護担当ヘルパーの勤務管理と請求業務効率化のためツールを導入。事務作業時間削減に加え、介護サービスの質も向上！

ITツール導入のきっかけ

書類ベースでの事務作業時間が多く残業が増加。介護の専門家としての業務を圧迫することが問題に

訪問介護業務におけるサービス提供時間の細分化などにより、ヘルパーを管理するサービス提供責任者の業務が増加。それまで活用していたシフト管理・請求業務ツールでは対応が追いつかない状況でした。サービス内容を正確に把握したうえで介護保険請求を行うため、請求期日間近になると事務作業の負担から残業も増え、介護の専門家としての仕事に支障をきたすようになっていました。

またヘルパーも現場でのサービス提供時間を書類に記録する手間が増え、介護時間が短くなるという問題も。書類ベースでの業務記録では、サービス提供責任者が手作業で介護計画と勤務状況を突き合わせる必要があり、大きな負担でした。

取り組み

利用中のシステムとのデータ連携も重視。職員の事務作業負担軽減のためツールの導入を決定。

導入したITツール：

訪問介護支援システム「Care-wing 介護の翼」（株式会社ロジック）

ICタグによってヘルパーの訪問介護サービス状況や時間を自動的に把握。さらに事務処理をIT化し、介護保険請求業務を効率化。

セミナーで紹介を受け、「Care-wing」は訪問介護の一連の業務に特化したシンプルなシステムのため使い勝手が良いと感じ、採用を決断。今まで利用していた介護保険請求システム「介舟ファミリー」と連携できることも導入の決め手に。

自動化・効率化
ツール

効果

ICタグで訪問介護のサービス時間を管理。請求システムと連動させることで事務処理時間を大幅削減。

スマートフォンなどの端末に馴染みがあるヘルパー10人と当社と馴染みの深い利用者様10件を選び、2ヶ月ほど試験的に利用を開始。そこで使い勝手や課題点などを洗い出し、マンツーマンのスタッフ研修を重ねながら段階的に導入を進め、時間をかけて全ヘルパーと利用者様に展開していきました。

ICタグで訪問介護のサービス開始と終了時刻が正確に記録されるため、曖昧さがなくなりヘルパーの勤務時間に対する意識も向上。従来のように書類に記入する手間がなくなったぶん、利用者様と接する時間が増えるという効果もありました。

これまではサービス提供責任者が介護保険請求や給与計算など書類確認の事務作業に追われていましたが、記録がデータ化されたことで転記がなくなり業務がスムーズに。手作業によるミスや文字の読み間違いもなくなりました。時間に余裕ができ、介護の専門家としての本来の業務や若手の指導に時間を割けるようになりました。またペーパーレスが進み、記録書類の保管スペースが不要になるという効果も現れました。

業務フローのココに効く！



有限会社青空

介護

〒236-0021

神奈川県横浜市金沢区泥亀1-15-2

ひいちやビル3F

創業：2003年4月

資本金：300万円

従業員数：150名

<http://www.aozora-care.com/>



アドバイス

会社としてITツールを導入する必要があるか、その理由や目的を明確にして職員たちに説明し、みんなが納得した状態で導入に取り組むことが成功の秘訣だと思えます。一度にすべての環境を整えようとせず、段階的に浸透させていけば、ITに不慣れな職員やヘルパーへの負担も少なくなるはずです。



アースルーフ

伊豆高原にお子様連れを主な顧客とした全5室の小さなペンションを経営。複数の宿泊予約サイトへ掲載する情報を一元管理できるシステムを導入。情報更新作業にかかる時間が削減され、顧客対応に注力できるように。



ITツール導入のきっかけ



宿泊予約サイトに掲載する情報を更新するには多くの時間が必要。日々の接客業務の中で、情報更新の時間が確保できず負担に。

ファミリーがのびのび楽しめるペンションとしてお客様に支持されてきましたが、売上は横ばい。新たな宿泊プランのアイデアはあるものの、複数の宿泊予約サイトの情報を更新するのは手間がかかり、日々の業務に追われ更新を後回しにしていました。

情報更新を外部のコンサルティング会社に委託していたのですが、こちらはコストがかかる上にリアルタイムでの対応も期待できません。タイムリーにお客様への情報が提供できないことも問題に感じていました。より多くのお客様に私たちのことを知っていただきたい、でも複数の宿泊予約サイトの情報を管理するだけの時間も人員も確保できないジレンマがあります。

取り組み



地域の事業をサポートする信用金庫主催のセミナーに参加。複数の宿泊予約サイトを一元管理できるツールの導入を決定。



予約管理・受付



ホームページ制作

導入したITツール：
宿泊予約サイト一元管理システム「かんざしクラウド」
複数の宿泊予約サイトに掲載する情報を一元管理。情報の更新や変更も一括操作で可能。サイトコントローラーとも連携

同業の仲間たちと悩みを共有し対応策を考えるなかで、三島信用金庫・さがみ信用金庫共催の観光事業者向けITツール導入セミナーに参加。さまざまなツールの特徴を聞き、課題を解決するツールに出会いました。サイトコントローラーとの接続も良く、在庫の管理が容易になること、複数サイトの情報を一度で更新でき、動作がスムーズかつ確実であることが大きな魅力です。

効果



宿泊予約サイトに掲載する情報のタイムリーな更新が実現。時間的余裕も確保でき、丁寧なお客様対応が可能になった。

現在2つの予約サイトと自社ホームページで予約を行っているのですが、各サイトの情報を更新するのに、これまでは半日以上時間を取られてしまい、お客様と向き合う時間が少なくなっていました。しかし複数の予約サイトの情報を一元管理できるツールの導入により、情報の更新が1~2時間程度で済むように。更新作業の手順についても電話でサポートがあったので、安心して作業を行えました。

ツールの導入によって時間に余裕ができたため、これまでなかなか着手できなかった私たちが新しい新たな宿泊プランの立案にもチャレンジできそうです。また情報の更新作業が簡単になったので、季節限定のプランやタイムリーなプランの情報を宿泊予約サイトに掲載していくことも考えています。

今後はもっと広く情報を提供していけるようになり、お客様のニーズによりタイムリーに応えられるようになると思います。

業務フローのココに効く！

集客 → 予約 → 部屋割り → チェックイン → チェックアウト

施設管理 在庫管理 納品管理 原価管理 スタッフ管理 売上管理 顧客管理

アフター管理 分析

ITツールで生産性向上事例



アースルーフ

宿泊業

〒413-0234

静岡県伊東市池615-87

創業：2014年12月

資本金：0円

従業員：0名

<http://アースルーフ.jp/>



アドバイス



宿泊施設の予約はインターネット経由が主流となり、お客様の情報を管理するにはITツールの活用が必須です。多数のツールがあふれる中、自分たちの施設の規模や目的に合ったツールを見つけることがカギとなります。セミナーなどに参加して、情報を多く持つ人に相談するとよいでしょう。



株式会社ラクコーポレーション

鳥取県三朝温泉にて三本の源泉が魅力の天然温泉旅館を経営。
会計・給与計算システムの連携により業務時間が短縮。
タイムリーな業績把握により経営判断が可能となり、業績アップにも期待！

ITツールで生産性向上事例



株式会社ラクコーポレーション

宿泊業

〒682-0122 鳥取県東伯郡三朝町山田174

創業：1938年1月

資本金：1,000万円

従業員数：正社員39名

<http://www.misasakan.co.jp/>

ITツール導入のきっかけ

新規ホテル開業により業務量・人員が増加。
より効率的・合理的なソフトへの切り替えを検討

従来より会計システムや給与計算ソフトを使用していましたが、異なる会社のシステムであったため、仕訳データの連携が行えないなど運動性に欠けていました。また、1か月あたりの伝票枚数が数千枚に及ぶことや、新規ホテルの開業による業務量・人員の増加もあり、効率的・合理的なソフトへの切り替えを検討していました。

業界及び地域においても、鳥取県中部地震による客足の減少や価格競争による単価の減少等の不安要素があり、会社全体における合理化が急務であると考えていました。

取り組み

IT導入補助金を機に、会計と給与計算のシステムを刷新。
経理業務の効率化を実現！



財務会計

導入したITツール：

中堅企業向けクラウド会計システム「FX4クラウド」

給与計算システム「PX2」（株式会社TKC）

部門別業績管理機能、銀行信販データ受信機能、業務システム等のデータ連携、所得税・社会保険・労働法に準拠した給与計算機能などに対応



給与

顧問契約をしている税理士事務所と弊社の課題を普段から共有・相談しており、IT導入補助金の制度を活用したソフトの入れ替えを提案されました。顧問税理士事務所がIT導入支援事業者でもあったため、ソフトの入れ替えを決めました。

効果

会計と給与計算システムの連携により業務時間が短縮。
タイムリーな業績把握がタイムリーな経営判断を可能に！

銀行信販データの受信機能を活用することで、金融機関からインターネットを利用して取引データを自動受信することができ、仕訳を簡単に計上できるようになりました。また、複数人による伝票入力が可能なことと、会計システムと給与計算システムが連携されたことで、経理・総務の業務がスムーズとなり、業務時間が短縮されました。

給与計算ソフトについては、以前使用していたソフトと操作方法が異なっていました。顧問税理士事務所（IT導入支援事業者）の指導により、大きな戸惑いもなく移行することができました。また、直接サポートを受けることができるため、社内事情等を考慮した運用方法・サポートを受けることができ、安心です。

ツールの導入でタイムリーな業績把握が可能となり、タイムリーな経営判断も行えています。今後、業績にも反映されることと思います。



データで見る宿泊業

IT導入補助金を活用した宿泊業全体

生産性：**23.25%**向上

勤務時間：**2.36%**短縮

売上：**13.48%**増加

平成28年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業
事業実施効果報告より

業務フローのココに効く！



地域住民を支える診療と最先端の治療を行う眼科として信頼を集める。眼科に特化したクラウド型電子カルテシステムを導入し、診療効率が向上。患者情報のスムーズな管理、スタッフの効果的なマネジメントが実現。



横浜鶴見中央眼科

医療

〒230-0051

神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央1-2-4

GSプラザ鶴見駅前1F

創業：2012年

資本金：0円

従業員数：24名

[https://www.chuoh-eye-](https://www.chuoh-eye-clinic.com/group/tsurumi/)

[clinic.com/group/tsurumi/](https://www.chuoh-eye-clinic.com/group/tsurumi/)



ITツール導入のきっかけ

患者の増加により、紙によるカルテの保管スペースが悩みに。電子化することで患者情報や予約をスムーズに管理したい

これまでカルテは紙で管理をしていました。カルテの保存期間は5年間。保存期間を過ぎたカルテは破棄されてしまい、過去の情報を確認できない問題がありました。また最先端の白内障手術を行うようになり患者数も増加したことから、予約制を導入したのですが、紙カルテをもとに予約を管理するには、必要なカルテを探す手間と時間がかかってしまいます。加えてカルテ保管のスペースや紛失などの問題も発生。

クリニックの移転も控え、今後はカルテの保管に場所を使うよりも患者さまが快適に過ごせる待合室、診察室や検査室としてスペースを活用すべきだと考えました。

取り組み

複数の場所からカルテ内容が確認できるクラウド型を検討。既に導入しているクリニックに相談しながらシステムを決定

導入したITツール：

眼科診療に特化したクラウド型電子カルテシステム『CLIPLA Eye』（クリニカル・プラットフォーム株式会社）患者情報管理、検査機器と連携したデータの取り込み、診察情報管理、次回診察指示管理、眼鏡・コンタクトレンズ処方、レセコンと連携した会計処理、予約管理などに対応



自動化・効率化ツール

本院と分院があるため、どこからでもカルテを確認できる環境を作りたいとクラウド型の電子カルテに絞り、系列のクリニックや関わりある医師に相談しながらシステムを選択しました。最初からすべてのカルテを電子化するのではなく、まずは稼働しているものから徐々に電子化していきました。

効果

カルテ保存の省スペース化、診察情報の共有で働きやすい環境に。スピーディな予約や診察で、患者の待ち時間も減少！

カルテが電子化されたことで、過去の治療履歴なども一目で確認できるようになりました。今後通院履歴が増えていくことになっても、スマートに情報を管理・保管できると安心しています。

またこれまででは本院と分院の間を、スタッフが紙のカルテを持って行き来しながら診察や手術を行っていましたが、クラウド型のシステムなのでPCさえあれば同じカルテをどこからでも見ることができ、診察もスピーディになりました。電話で次回診察の予約が入る場合も、名前や診察番号から検索して予約を入れることができるので、患者さまをお待たせすることもありません。

システム導入して半年が経ち、スタッフ間で業務上の連携が取りやすくなったと感じています。患者さまの診察状況や、何人待っているのかという情報も共有できるので、離れた場所にある本院と分院の混雑具合も把握できるようになりました。それによりスタッフが状況に応じてサポートに行くなど助け合いも生まれています。

業務フローのココに効く！



アドバイス

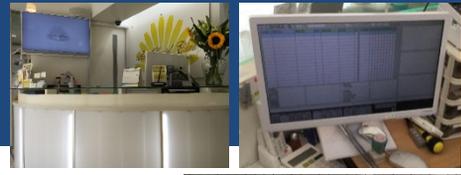
新しいシステムを導入し、今まで通りのスピードで業務を進められるか不安に思うかもしれませんが、使っていくうちに必ず慣れます。確かに最初は試行錯誤をする時間がありますが、それは一時的なものです。旧来の不便なカルテ管理を続けるより、長期的に考えれば大きなメリットを感じられます。

医療法人社団アークブレンズ

歯科診療所を経営する医療法人社団。

電子カルテ対応レセプトコンピューターを導入し、患者の待ち時間が減少。それに伴い1日の来院患者数・収益がアップ！

ITツールで生産性向上事例



医療法人社団アークブレンズ

医療

〒102-0085

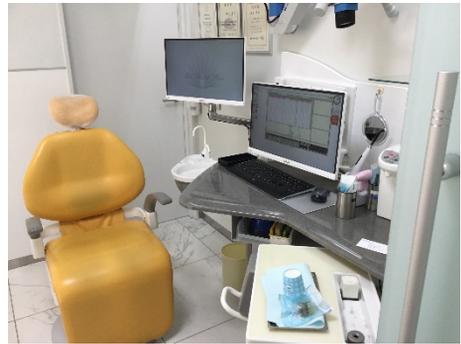
東京都千代田区六番町1-5 布江ビル1F

創業：2005年2月28日

資本金：800万円

従業員数：正社員 12名

<http://www.arkdent.com/>



ITツール導入のきっかけ

従業員の受付・会計業務の負担による残業時間の増加に加え、ドクターのカルテ作成業務による患者の待ち時間も課題に

嬉しい悩みですが患者数が増加し、従業員の受付・会計業務の負担による残業時間が増加していました。また、ドクターは患者1人当たりの対応時間を充実させたいと思い、日々診療にあたっていますが、診察後のカルテ作成業務に時間がとられてしまうために、患者の待ち時間が増加してしまうといった悩みも抱えていました。

さらに、4・5年ほど前から紙のカルテを保管するスペースの確保にも、課題を感じていました。

取り組み

従業員へのヒアリング・ミーティングを重ね、電子カルテ対応レセプトコンピューター「WiseStaff-9Plus」を導入



患者情報管理



窓口会計

導入したITツール：

電子カルテ対応レセプトコンピューター

「WiseStaff-9plus」（株式会社ノーザ）

患者管理業務・カルテ入力業務・カルテ発行業務・窓口会計業務・リコール業務などに活用

システムメーカーの営業担当者（IT導入支援事業者）から当該ITツールの案内があり、導入検討を始めました。

歯科診療所で働いている従業員へ業務負担・残業時間の増加は何か原因なのか細かくヒアリングし、解決に向けたミーティングを重ね、最終的に電子カルテ対応レセプトコンピューター「WiseStaff-9plus」の導入を決定しました。

効果

業務の精度が向上し、患者の待ち時間は減少。顧客満足度が上がり、1日の来院患者数が増加。収益もアップ！

「WiseStaff-9Plus」を、日々の患者管理・受付業務・窓口会計業務・カルテ作成業務・リコール業務で活用しています。IT導入支援事業者による使用方法のサポートがあるので、ITツール使用に対しては特別戸惑いはなく、従業員からは以前より業務の精度が向上し便利になったという意見を聞けています。

また、ITツールの導入に際しミーティングを重ねたことで、より効率的に業務を行うにはどうすればいいのかということ意識しながら日々の業務を行う姿勢に変わりました。この意識の変化がとても業務に影響を与えていると思います。

効率的な業務により1日に受け入れられる患者数が増加したので、収益向上に結び付けることもできました。

さらに、従業員の残業時間が減少し、働きやすい環境を提供することもできました。

業務フローのココに効く！



データで見る医療

IT導入補助金を活用した医療関係の58.68%が会計業務の効率化を希望



IT導入補助金を活用

15.94%の生産性向上を達成

平成28年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業交付申請・事業実施効果報告より

アドバイス



IT化することで人為的ミスの軽減による業務の精度向上はもちろん、従業員の負担軽減、それに伴いサービスの向上と良いサイクルが生まれると思います。



株式会社大塚工務店

宮大工の技術を継承した地域密着の工務店。
建築3次元CADを導入し、お客さまへの提案力・訴求力が格段に向上。
受注までのスピードも上がり、売上・粗利が改善！

ITツール導入のきっかけ

2020年以降の建築業界の変化を見据え 提案力の向上、社内業務の合理化を図り、競争力のある企業へ

お客さまへの提案には、建築物の完成イメージや間取り・図面等資料の事前準備に時間を要します。その提案に対してプラン変更など、お客さまの要望にその場で応えるスピーディーさが求められるようになりました。
また、建築提案内容の高度化・迅速化とともに、社内の作業負担軽減という課題が存在していました。

さらに2020年以降に大きく建築業界の状況が変化する可能性が指摘されています。今のうちに提案レベルの向上や社内業務の合理化を図り、競争力ある企業体質を構築する必要性を感じていました。

取り組み

建築設計提案効果、間取り図面作成、操作性等を比較検討。 社内作業の合理化効果も高い「MADRIC・AD-1」を選定

導入したITツール：

3次元CAD「MADRIC・AD-1」（株式会社シーピーユー）
3次元での外観・内観の完成建築イメージ（パース）、間取り・設計図面作成、リフォーム・建物燃費計算シミュレーション、顧客管理・確認・実施・積算機能などを備える

2次元の建築ソフトウェアや関連するITツールの活用・試用を行っていましたが、データ連携に課題がありました。IT導入補助金を機に、建築設計提案効果や間取り図面作成、操作性等を複数のITツールで比較検討し、社内作業の合理化効果も大きい「MADRIC・AD-1」に決定しました。

IT導入補助金の申請に際して必要な事業計画の策定は、ITコーディネーターにも相談をし、IT導入支援事業者、当社の3社が連携して作り上げました。

効果

3次元で鮮やかな建物外観・内観のイメージによりお客さまの満足度・理解度が向上。意思決定スピードが上がり、利益もアップ

当社には内装やオーダーキッチン・家具などが展示され、大型のパネルでVR（バーチャル・リアリティ）も体感できるショールームがあります。
ITツールを活用し作成した詳細なイメージや図面がショールームの大型パネルで確認でき、お客さまの満足度・理解度向上に繋がっています。お客さまは実際の完成イメージをバーチャルリアリティ感覚で体感できるため、提案から建築決定までの意思決定が早くなっています。

また、建物に関する燃費計算などもシミュレーションでき、当社としては、受注までのスピードが短縮されて後々のクレーム防止も図れる他、これに付随する社内作業の合理化が実現され、業務生産性が確実にアップしています。

建築提案の質向上と受注スピードがアップした結果、売上増加、粗利改善に結び付けることができました。

業務フローのココに効く！



ITツールで生産性向上事例



株式会社大塚工務店

建設業

〒426-0015 静岡県藤枝市五十海1-16-23

創業：1972年11月

資本金：1,000万円

従業員数：正社員11名 契約社員1名

<http://www.ootuka.jp/>



データで見る建設業

IT導入補助金を活用した建設や設計関係でCADや3Dソフトなどを導入した事業者

生産性：**31.03%**向上

勤務時間：**1.19%**短縮

平成28年度補正
サービス等生産性向上IT導入支援事業
事業実施効果報告より



アドバイス

ITツールは導入しなければ損です。迷わず、まずはやってみることが重要であると思います。ITツールの選択にあたっては、導入効果を最大限に引き出すため、導入後のサポートが手厚いIT導入支援事業者をお勧めします。IT導入補助金などの助成金制度を上手く使って、ITツール導入費用面での負担を軽減しながら、一刻も早い合理化推進をおすすめします。

株式会社奈々ホーム

自然素材を使い、自然の恵みを感じる住まいづくりにこだわる建設業。
法人化を機に原価や予算実績管理等の業務を見える化。
経営管理に必要な情報の集計作業時間が大幅に削減！

ITツール導入のきっかけ

お客さまに選ばれるためにはデザイン・ブランドの強化が必須！
あらゆる情報を蓄積、分析することが、商品発案のスタートに

個人事務所として長年活動した後、2017年5月1日に法人化しました。
これをきっかけに、仕事をデータ化し原価管理・業務管理の見える化を進めたいと思いました。

また、お客さまに選ばれる工務店になるためには、デザインやブランドの強化が必要と考えています。弊社では熟練の大工の経験値を活かし家づくりをしていますが、今後はこの経験値をデータ化し、いつ・どこから調達した自然素材の材料が効果的であったか、お客さまのご要望はどのような傾向にあるのかといった情報を蓄積・分析することで、商品やデザイン強化に向けた発案ができると思い、ITツールの導入を検討し始めました。

取り組み

専門家と共に経営計画書を作成。事業課題の解決にむけて建設業に特化したソフト「レッツ原価管理Go」を導入

発注・仕入・買掛・支払管理



売上・請求・売掛・回収管理

導入したITツール：

「レッツ原価管理Go」（株式会社レッツ）

見積・実行予算管理・受発注管理・原価管理・支払管理・回収管理などに対応

まず、何から取り掛かるべきか専門家に相談をし、自社の強み・弱み及び事業課題を洗い出し、経営計画書にまとめました。

原価管理・業務管理が見えづらいという事業課題が見えてきたのでそれに対応するITツールを探していたところ、知人の紹介で「レッツ原価管理Go」を知り、IT導入支援事業者にお問い合わせ、導入を決めました。

効果

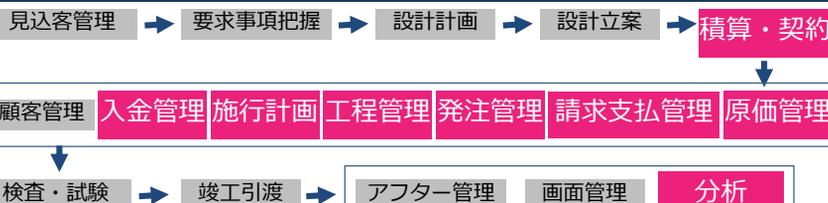
業務の見える化が進み、知りたい情報をリアルタイムで確認。
さらにデータを蓄積し、経営判断の指針として活用することも検討

見積書の作成、原価の明細（材料等）把握、職人の労務管理、請求書の発行など、多岐にわたり業務で活用しています。
IT導入支援事業者が導入時のインストールから稼働までサポートしてくれ、操作方法が不明な時にもリモートでサポートしてくれるので、安心して活用できています。

今までデータ化できていなかった原価の明細や予算実績管理等、業務の見える化が進み、知りたい情報をリアルタイムに集計して確認することができるので便利です。

また、工事別の集計や月次・年次の集計など経営管理の部分で必要な情報をまとめる時間が大幅に削減され、今後はこれらの情報を経営判断の指針として活用することを検討しています。

業務フローのココに効く！



ITツールで生産性向上事例



株式会社奈々ホーム

建設業

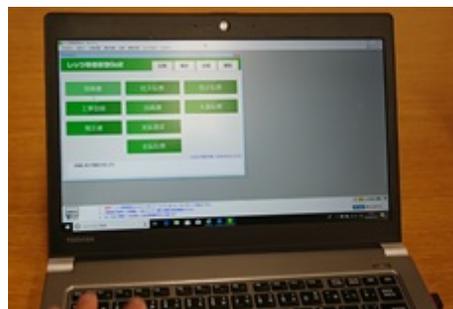
〒021-0001 岩手県一関市新町4-14

創業：2017年5月1日

資本金：1,000万円

従業員数：正社員3名

<http://www.nana-home.co.jp/>



データで見る小規模事業者

奈々ホームのような小さな会社は、ITを導入することで特に生産性の向上が認められます。

売上： **26.6%** 増加

生産性： **36.23%** 向上

平成28年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業 事業実施効果報告より

アドバイス

どんな会社でも会社の強み・弱み・事業課題があり、ITツールを使えば解決できる課題があると思います。IT導入補助金は、導入費用の負担を軽減できるありがたい制度だと思います。同業者や友人・専門家等より情報を集めてぜひIT導入補助金の申請に踏み切ってください。



有限会社 仲原商事

伊豆中央道沿いのドライブイン『いちごプラザ』を運営。
国内外から訪れるお客様に地場の素材を使った土産品を製造・販売。
観光客対応のためロボット型接客ツールを導入し、おもてなし力UP!

ITツールで生産性向上事例



ITツール導入のきっかけ

外国人観光客の増加にともない、商品説明の対応が困難に。
スタッフの心理的・時間的負担も増え改善策を検討。

ドライブインを運営していく中で、外国からのお客様への対応の難しさを感じていました。現場では高齢のスタッフも多く働いているため、これから語学を勉強することも難しさがありました。伊豆の素材を使って作られた商品を身振り手振りで外国人のお客様に伝えるにも限界があり、地元の魅力をPRできないもどかしさがありました。

また自社商品として開発した「いちご大福」をはじめとするフルーツ大福は、日本人の観光客にも人気で、毎日長い行列になっています。商品を食べる際の注意点を毎回レジでお伝えしているため、接客に時間がかかってしまうという問題を抱えていました。外国人観光客対応と接客時間の短縮、それが常に大きな課題でした。

有限会社 仲原商事

小売業

〒410-2221

静岡県伊豆の国市南江間1788-2

創業：1976年9月

資本金：300万円

従業員数：58名

<http://15plaza.com/>

取り組み

スタッフの代わりに接客を担うロボット型接客ツールを導入。
よく使われるお客様との会話を洗い出し、接客トークを設定。

導入したITツール：

接客サポートツール「おもてなしロボット コロン」
日英中同時通訳による外国人対応、日本語での接客トークなどを行うロボット型接客ツール

地元企業の相談に親身になってくれる信用金庫が主催のIT導入セミナーに参加し、このツールを知りました。日英中の3か国語通訳ができ、同じ内容を繰り返しアナウンスする機能も搭載。ロボットが話す内容も自分たちで設定できることも魅力です。いちご大福の売場、レストラン、コンビニの3か所に設置すれば、最低限のインバウンド対応ができると思いました。



効果

商品の説明をロボットが担うことで、スタッフは仕事に集中。
作業効率も向上し働きやすい環境に。外国語対応にも期待！

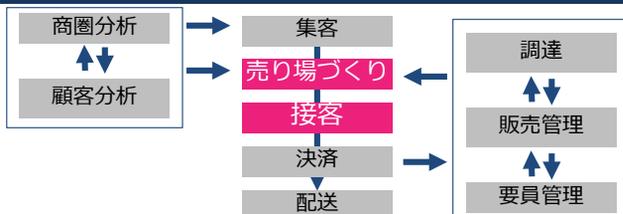
3台のおもてなしロボット“コロン”の導入を決め、まずはいちご大福の売場に1台設置しました。いちご大福は繊細な商品なので、扱いの説明や賞味期限などお客様にお伝えすることが多々あります。この説明を“コロン”に任せました。

見た目や動きに愛嬌のある“コロン”の話す説明をしっかりと聞いてくださるお客様が増えたことで、スタッフは自分の業務に集中でき、作業効率が向上しました。現在は日本語での対応のみですが、今後外国語でのやりとりも設定できれば、外国からのお客様への売上アップにも期待できそうです。

“コロン”の話す内容は任意で決定でき、その文言をITベンダーの担当者が英語や中国語に翻訳してくれます。また遠隔操作での設定や、話す内容の相談にも乗っていただけるので安心感もあります。今後外国語での会話もできる環境が整えば、私たちの看板商品である“いちご大福”を海外へアピールするチャンスにも繋がるのではないかと考えています。



業務フローのココに効く！



アドバイス

まずは何が生産性向上を妨げているのか、問題のポイントを明確にすることが大切です。現場社員の意見を聞き、課題をリストアップ。その中から人間の力で問題解決をするのが難しいテーマを洗い出し、その課題とリンクするITツールを探しましょう。課題とツールのマッチングが重要です。



株式会社フジカーランド上田

長野県東信地域にて自動車の販売・整備等を行う小売業。
会計・給与計算システムの連携により業務時間が短縮。
今後は人事管理システムも本格稼働させ、さらなるIT化を図る。

ITツール導入のきっかけ

事業拡大に伴う従業員増加が、給与計算業務の負荷を拡大。
さらに複数拠点の勤怠管理も課題に

2~3年前からExcelで勤怠データを管理していましたが、何度もデータを入力・修正する必要があり、作業に手間・時間がかかっていました。

また、当社は主に長野県の東信地域で事業を展開していますが、他地域への出店も視野に入れ、現在事業拡大を図っています。拡大に伴う従業員の増加により、給与計算における締め日前の作業時間が増加し、残業が発生していることが悩みでした。

さらに勤務システムも7拠点でタイムカードで管理をしていたため、毎月締め日には7拠点分の勤怠データの集計作業が発生し、こちらにも時間を取られていました。

取り組み

IT導入補助金を機に、人事管理と給与計算のシステムを導入。
ITに強い社員を専門に置き、IT化による業務改善を推進！

導入したITツール：

PCA人事管理+給与管理連携パック（株式会社リコージャパン）
従業員等の個人属性・就業情報等の登録機能、雇用契約管理機能、シフト管理機能、給与管理機能、分析機能などを有する

20年前から取引をしている地元ITベンダー（リコージャパン）に相談したところ、担当者よりIT導入補助金を活用したITツールの導入を提案され、すぐに導入を決定しました。

当社では他にも、ITに強い社員を1名専門に置き、IT化による業務改善を進めています。



人事管理



給与

効果

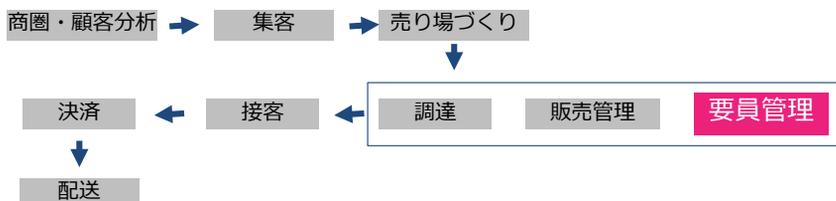
タイムカードと給与管理システムの連動。
約10時間の業務効率化を実現！

従来タイムカードによる勤怠管理と給与管理システムを連動させることで、勤怠データの入力集計作業が自動化され、締め日直前の作業が約10時間（2時間×5日）時間短縮することができました。

また給与ソフトと同時に導入した人事管理システムは、初期作業として必要な人事情報の入力作業が終了したので、これからさらに本格的な活用を始めていきます。

これまでもIT化を積極的に進めていたため、担当者を含め戸惑いなくスムーズに導入ができました。今後は社員の取得資格・スキル・キャリア等の社内規定も見直しを進め、更なる社員のモチベーションアップにつなげていく予定です。

業務フローのココに効く！



ITツールで生産性向上事例



株式会社フジカーランド上田

小売業

〒682-0122 長野県上田市材木町1-17-13

創業：1963年

資本金：2,300万円

従業員数：

正社員74名 派遣2名 パート28名

<http://www.fujicar.info/>



データで見る卸・小売業

IT導入補助金を活用した卸・小売業の
54.13%が人材不足に悩み
65.23%が効率化に課題あり

給与・会計ソフト導入

2.8%の勤務時間短縮を達成

平成28年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業
交付申請・事業実施効果報告より

アドバイス

導入すれば必ず業務効率は上がるはず
です。コスト面で踏みとどまっている
のであれば、まずは積極的にIT導入支
援事業者（ITベンダー）に相談してみ
てください。



清水建材工業株式会社

日々変動する仕入れ価格、需要をITツールを活用し集計・分析。
『長年の勘』からの脱却をはかり、後継者問題にも取り組む。

ITツール導入のきっかけ

事務業務担当者の交代、後継者問題と“人”の課題が顕在化。
さらに、オリンピック需要に対応した商材の振り分けも検討

きっかけは業務担当者の交代による事務処理の遅れです。日々仕入れ価格が変動するため売上・仕入単価の推移把握が難しくなったこともあります。併せて、オリンピック需要に対応した商材の振り分けを考える必要も生じていました。

さらに後継者問題もあり、取引に係る情報や社内のルールの統一化を図り、引き継ぎやすい環境を整えることも課題の一つでした。

取り組み

IT導入支援事業者と共に業務フローを確認し、経営課題を把握。
時間短縮効果が見込める「販売管理システムBセット」を導入

導入したITツール：

「販売管理システムBセット」(カシオ計算機株式会社)
発注・仕入・買掛・支払管理、採算管理(原価計算)、顧客管理(基本情報、購買履歴等)に対応

発注・仕入・買掛・
支払管理・採算管理

以前からお付き合いのある営業さんへ相談をしたところ、会社の業務フローを確認した上で、適切なアドバイスをもらえました。共に経営課題を把握し、ITツールで解決できる具体的な手法を提案いただきました。

そのようなステップを踏んで、発注から原価計算まで情報を一元管理でき、事務作業の分担化・効率化による時間短縮や営業に割ける時間の増大効果が見込める、「販売管理システムBセット」を導入しました。

顧客管理

効果

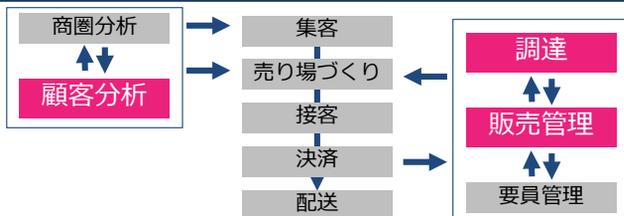
売上の多い得意先の需要予測や仕入単価の推移、
最適な仕入先の選定など、売りに上げに直結するデータを収集！

ツールを活用し、取引先(ゼネコン)毎に異なる商習慣の流れを一元化し、情報の集計・分析を行っています。課題であった引き継ぎのしやすい環境の整備もできました。

経営の全体像が把握できるようになり、売上の多い得意先の需要予測や仕入単価の推移、最適な仕入先の選定など、今後の取引に必要な情報を得られています。その結果、売上アップにつなげることができ、今後は粗利のアップにも取り組んでいきます。

さらに情報分析を行っていき、将来的には配達ルートを自動で最適化してくれる運搬向けシステムも検討したいと思っています。

業務フローのココに効く！



ITツールで生産性向上事例



清水建材工業株式会社

卸・小売

〒123-4567 東京都港区芝浦4-17-10

創業：1968年7月3日

資本金：1,000万円

従業員数：正社員 11名



データで見る卸・小売業

IT導入補助金を活用した
卸・小売業全体

生産性：**20.47%**向上

勤務時間：**1.71%**短縮

売上：**15.43%**増加

平成28年度補正
サービス等生産性向上IT導入支援事業
事業実施効果報告より



アドバイス



生ものと同じように状況によって需要の変わる商材だからこそ、判断の根拠を『長年の勘』だけに頼らなくてすむように視覚化できると経営判断がしやすくなります。頭の中にあるものを視覚化するつもりで取り組むのがいいと思います。

福留聡国際会計アドバイザー株式会社 ITツールで生産性向上事例

法人・個人事業主等に対し、税務・会計アドバイザー業務を提供。
ツール導入により入力作業が自動化され、作業時間が削減。
より多くのクライアント対応が可能になり、売上・粗利が増加！



福留聡国際会計アドバイザー株式会社

士業

〒162-0065

東京都新宿区住吉町2-15 荻野ビル6階

創業：2016年2月

資本金：100万円

従業員数：1

<http://cpasatoshifukudome.biz/>

ITツール導入のきっかけ

会計ソフトによる業務効率化が図れず、多大な記帳時間が発生。
税務申告・会計ソフトが連携しておらず、データ連携作業も発生。

会計ソフトによる業務効率化が図れず、記帳（クライアントの帳簿を作成するための作業）時間を多大に要していました。
税務申告の際には、会計ソフトとは別会社の申告ソフトを利用していたため、会計データを出力した後、そのデータを取り込む手間がかかり、時には数値を手入力することもありました。

また、公認会計士・税務士業界ではAIが発達し、会計・税務業務のほとんどが自動化・クラウド化されるといわれています。弊社としては業界の最先端を走り、作業時間は少なく、満足度は高く、コストベネフィット最大化を目指したいと考えています。

取り組み

クライアントからツールの利用要望を受け、ツールを認知。
クライアントと同じソフトを使用するため、利用開始を決意。



財務会計

導入したITツール：
クラウド会計ソフトfreee、クラウド申告freee
(freee株式会社)

クライアントの会計帳簿作成・管理機能、電子データ取り込み機能、法人税申告書等作成機能などを有する。

元々freeeという会計ツールはマスコミ・インターネット等で存在は知っていましたが、クライアントからfreeeを利用したいと要望を受け、詳細を調べました。
弊社はクライアントの会計ソフトに合わせてソフトを選定することから、利用開始を決意しました。



効果

入力作業が自動化され、他のサービスに時間をさけるように。
結果、クライアント数が増加し、売上増加・原価低減・粗利増加！

インターネットバンキング・クレジットカード等の電子データや、通帳のコピーをもとにした入力作業が自動化されました。また、銀行・カード口座とシステム連携することで、データ入力が自動連携され、税務サービスの効率化を図ることができました。

記帳作業・申告作業の時間を大幅に削減できたため、税務の日常の質問や資金調達
のアドバイス等、顧客に向き合う本来業務に時間を活用できています。また、より
多くのクライアントに対応することができ、売上増加・原価低減・粗利増加に繋が
りました。

IT導入補助金と別途で、既に給与計算や年末調整業務を効率化できる人事労務のシ
ステムも活用し、業務効率化を図っています。
今後さらに会計データだけでなく、給与データや領収書データとの連携にも取り組
み、入力業務の完全自動化を図りたいと考えています。

業務フローのココに効く！



データで見る士業

数字を扱う士業におけるIT導入効果は
非常に大きな結果が得られています。

生産性：**20.34%**向上

勤務時間：**4.63%**削減

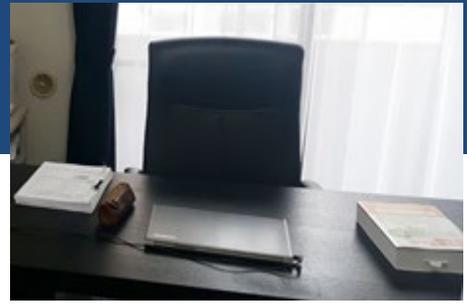
平成28年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業
事業実施効果報告より

アドバイス

今後、IT化・AI化の流れは避けられま
せん。先行投資して最先端を行けば、
必ず公認会計士・税理士業界で優位な
立ち位置を築けると思っています。
ITに仕事を奪われるという考えでなく、
前向きにIT化に取り組んでいきましょ
う。



会計・税務・経営のアドバイスを行う会計・税理士事務所。
顧客管理が簡素化・連動化され、勤務時間が短縮。
クラウド導入により、情報共有も効率化・円滑化。



ITツール導入のきっかけ

開業時、安価で利用可能なシステムを導入。
顧客等の情報や従業員との業務の共有ができないことが課題に。

開業間もないため、安価に利用ができる会計事務所システムを利用していました。
しかし、クラウド環境での関与先情報の共有ができないことや、従業員を採用した際にクラウド環境での業務の共有ができないという課題を抱えていました。

また、顧客拡大に伴い、顧客等の情報をクラウド環境で管理しなければ管理しきれなくなると感じていました。

藤井優貴公認会計士・税理士事務所

士業

〒260-0854

千葉県千葉市中央区長洲1-10-24

ライオンズマンション千葉県庁前第2 208号

創業：2016年9月

資本金：なし

従業員数：パート1名

<https://fujii-kaikai.tkcfnf.com/>

取り組み

課題解決のためITツールの検討を開始。
TKCや同業者からのアドバイスで、OMSクラウドの導入を決意。



顧客管理

導入したITツール：

OMSクラウド（株式会社TKC）

顧客データ・顧客情報の一元管理機能、国税・地方税の電子申告業務機能、電子申告データ一括送信機能、電子証明書等の有効期限確認機能などを有する。

TKCからの情報提供や、同業のTKC会員からのアドバイスがあり、課題解決のため「OMSクラウド」の導入が有効と考えました。



効果

顧客情報の管理が簡素化・連動化され、勤務時間が短縮。
クラウド導入により、情報共有も効率化・円滑化！

顧客データや顧客情報をクラウド環境で一元管理できるため、顧客情報の管理が大幅に簡素化されました。

また、当該データや情報が関連するシステムに連動するため、情報入力の重複が避けられ、勤務時間が短縮されました。

IT導入後にパート社員を採用しましたが、クラウドツールが導入されていたため、情報共有が効率化・円滑化されています。

IT導入支援事業者からOMSクラウドに関する機能の説明、実務運用面でのサポートがあり、導入後の戸惑いもありません。

今後は、仕訳連携機能の活用による仕訳入力業務の効率化、部門別会計の採用による顧客ごとの採算管理、クラウド環境による情報の共有化を目指すため、財務会計システム FX4クラウドの導入を検討しています。

データで見る 従業員5名未満の個人事業主

少人数で営まれている事業者にとっては、IT化することで大きな効果が得られています。

IT導入補助金を活用

32.47%の生産性向上を達成

平成28年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業
交付申請・事業実施効果報告より

業務フローのココに効く！



アドバイス

開業間もない会計事務所にとって、クラウド環境で活用できるITツールの導入・運用コストの負担は厳しいですが、事務所拡大を見据えてIT導入補助金を活用し、早期に業務に必要なITツールを導入することをお勧めします。

